

展示コーナーリニューアル

展示コーナーが新しくなりました。
第十八世庵主 鈴木芳如氏のご親族から寄贈された展示ケースです。



▲新しい展示コーナー

鍵和田庵主句碑

第二十二世庵主 鍵和田柚子氏の句碑が完成しました。



▲鍵和田庵主句碑

先代、鍵和田柚子先生の句碑を鳴立庵に建立することが決まり、どの句が良いかと町から質問を受けた。私は即座に「濤無限」の句を心に思い浮かべた。

円位忌の濤の無限を見てをりぬ

柚子

この句は鍵和田先生が入庵された年の西行祭の献詠句として詠まれたもので、「円位」は西行の法名。鳴立庵では、西行像をお祀りしてあるお堂も「円位堂」と呼んでいる。その「円位」の忌、すなわち「西行祭」の日の「こよろぎの涙」に打ち寄せる「春の濤」を詠んだものだ。一句の味わい処は「濤の無限」を「見る」というフレーズ。「無限の濤」ではないのだ。「無限の濤」なら「無限に続く」のではと思われる。「濤」を見ていることとなるのだが、「濤の無限」と言われると、見ているのは実は「波濤」ではなく「無限」という「時」を見ていることとなる。ここにこそ鍵和田先生の「円位忌」への深い想いが述べられているのだ。すなわち芭蕉の「笈の小文」中の有名な文、「西行の和歌における、宗祇の連歌における、雪舟の絵における、利休が茶における、其貫道する物は一なり」にあるように日本の芸術精神の伝承の中に自分もあるという想い。その「無限」に連なる一人として、その時間の流れを引き受けるといふ覚悟、それが「無限を見る」ということなのだ。鍵和田先生の「覚悟」が痛いほどに伝わってくる。

庵主てふ花の姫となりしかな

柚子

という句なども、いかにも「優しみ」に充ちた句で捨てがたいのであるが、一句と言われれば「濤無限」の句を挙げざるを得ないと思う。

連句作成会の参加を募集しています。

- ・連句初心者教室3期生募集（10月～3月）
 - 定員12名 年6回 第一日曜日 10時～11時30分
 - 参加費 2,000円
 - ・連句実作教室（10月～3月）
 - 定員12名 奇数月（11月・1月・3月）
 - 第一日曜日 13時～14時30分
 - 参加費 2,000円
- ※初心者教室修了の方が対象です。



鳴立庵大使「えんいくん」

お土産販売

受付ではお土産品も扱っています。地域の物品や手作り品を販売したい方を募集しています。
お問合せは鳴立庵まで。



▲お土産

教室・イベント

様々な教室やイベントを開催しています。



▲伝筆教室

▲生け花教室・花の会

▲鳴立寄席

▲手しごと庵

問 鳴立庵 ☎ (61) 6926